委員会活動報告

- 人事考課委員会
- 教育委員会
- 広報委員会
- 情報委員会
- 医療観察法運営委員会
- 医療安全対策委員会
- リスクマネージャー委員会
- 行動制限最小化委員会
- 院内感染防止対策委員会
- ＩＣＴ委員会
- 褥瘡対策委員会
- ＮＳＴ委員会
- 薬事委員会
- 病院食検討委員会
- 衛生委員会
- 退院支援委員会
- 業務改善委員会
- 未収金対策委員会
- 心理社会療法委員会
- デイケア科運営委員会
- 接遇向上委員会
- 事後審査委員会

人事考課委員会

委員長：川島浩也・事務局：中川甚一郎

【構成員】

4名（看護師2名　臨床心理士1名　事務員1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議事及び活動内容
隔　月	定例会議　奇数月第4金曜日　16：00 年2回実施する「ふれあい面談」の準備・検討・評価
平成28年 5月	定例会議：27日 協議事項：平成28年度6月期ふれあい面談について
7月	定例会議：22日 協議事項：平成28年度6月期ふれあい面談について
9月	定例会議：23日 協議事項：検査科の分掌表の改訂について
11月	定例会議：29日 協議事項：平成28年度12月期ふれあい面談について
平成29年 1月	定例会議：27日 協議事項：①「ふれあい面談」の評価について ②接遇向上委員会との連携について ③ふれあい面談実施の状況と今後の指導について
3月	定例会議：25日 協議事項：「ふれあい面談」の今後の方向性について

【評　価】

本年度は“相互理解”を目的に行ってきた「ふれあい面談」の評価と今後の方向性、及び新たに創設した接遇向上委員会との役割分担・連携が協議の中心であった。

「ふれあい面談」については考課者、被考課者共に必要性を感じている意見が多く、これまでの意義、役割は達せられていると感じる。

次年度からは、人事考課委員会が廃止となり「ふれあい面談」は総務課が取り行う。今後も「ふれあい面談」の良さが全職員に反映されることを願っている。

文責　中川甚一郎

教 育 委 員 会

委員長：深井真奈美・事務局：伊藤久美子

【構成員】

8名（看護師6名　薬剤師1名　精神保健福祉士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2水曜日 15：00 Evening studies　企画・新人研修・院内研究発表の実施・評価・年間計画の確認
平成28年 4月	1．定例会議：13日 (1)　報告事項：平成28年度第1回プリセプター研修報告 平成28年度新規採用者研修報告 平成27年度採用者1年目研修報告 平成28年度新規採用者看護技術研修 (2)　協議事項：企画書の内容確認 Evening Studiesの参加率を高める方法 平成28年度委員会年間活動計画案 2．活動事項：新規採用者1ヶ月目研修開催準備 医療安全委員会Evening Studies研修開催準備 アシスタント研修の計画・準備 3．研修運営：4月7日新規採用者看護技術研修「緊急時対応」・「防災研修」開催 4月14日15日　平成27年度院内研究発表開催 4月27日平成27年度新規採用者ケースレポート発表会開催
5月	1．定例会議：11日 (1)　報告事項：27年度ケースレポート・院内研究発表会の報告 平成27年度新規採用者研修の報告 (2)　協議事項：企画書の内容確認 院内研究の評価について確認 次年度の院内研究課題について Evening Studies研修の参加率を高める方法 Evening Studies・義務研修の企画運営に関して 2．活動事項：アシスタント研修の準備 行動制限Evening Studies研修開催準備 3．研修運営：5月11日新規採用者1ヶ月目研修「精神保健福祉法・向精神病薬」開催 5月26日27日　医療安全委員会Evening Studies研修 「インシデント・アクシデントの傾向と要因・対策」開催
6月	1．定例会議：8日 (1)　報告事項：新規採用者1ヶ月目研修報告 医療安全員委員会Evening Studies研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画の内容確認 アシスタント研修グループワークの内容の検討 新規採用者3ヶ月目研修のグループディスカッションの内容検討 新企画の提案：医事課・中材からコストを考える アンガーマネジメント・退院支援・人権・救急処置・薬剤について検討 2．活動事項：新規採用者3ヶ月目研修開催準備 プリセプター研修開催準備 拡大ケース検討会準備 院内研究計画書提出のお知らせ文章配布 管理者向け職員のメンタルヘルスについて 感染（ICT）・褥瘡Evening Studies開催準備 3．研修運営：6月14日　アシスタント研修「ユマニチュードを学び事例を考える・院長との懇談会」 6月29日30日行動制限Evening Studies研修「隔離と身体拘束に関する法律・身体拘束の手技」開催

委員会活動報告

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
7月	1．定例会議：13日 (1)　報告事項：行動制限Evening Studies研修報告 アシスタント研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画確認 職員のメンタルヘルス・拡大ケース検討会・感染・ＩＣＴ 新規採用者外部研修について ユマニチュード研修について 新企画について：病院マネーマネー 2．活動事項：移乗・移動　キネステEvening Studies研修開催準備 副院長講演開催準備 新規採用者外部研修企画準備 ユマニチュード研修の準備 3．研修運営：7月13日新規採用者3ヶ月目研修 「KYT・心理教育・ディスカッション・院長講演：人格障害について」 7月13日プリセプター研修3ヶ月目「院長講演：人格障害について」 7月21日拡大ケース検討会　地域課 7月25日管理職者対象　院長による「職員のメンタルヘルスについて」開催 7月28日29日感染（ICT）Evening Studies研修「新しい感染報告について」開催
8月	1．定例会議：10日 (1)　報告事項：新規採用者3ヶ月目・プリセプター研修報告 拡大ケース検討会報告 感染（ICT）Evening Studies研修報告 (2)　協議事項：Evening Studiesの参加人数を増やす方法 Evening Studies研修計画企画確認 2．活動事項：外部講師研修　人権擁護の準備 一時救命処置の準備 3．研修運営：8月4日副院長講演「精神科救急病棟職員アンケートから」開催 8月5日新規採用者外部研修 「新人看護師に聞いて欲しい精神科看護の話」 8月10日プリセプター研修3か月目「グループワーク」開催 8月24日25日移乗・移動　キネステEvening Studies研修開催 8月30日31日ユマニチュード Evening Studies研修開催
9月	1．定例会議：14日 (1)　報告事項：副院長講演報告 新規採用者外部研修報告 移乗・移動Evening Studies研修報告 プリセプター研修3ヶ月目（グループワーク）報告 ユマニチュード研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies計画企画確認 研修参加率向上の取り組みの評価と今後について ケースレポートの計画書について 2．活動事項：一時救命処置Evening Studiesの準備 新規採用者6ヶ月目・プリセプター研修開催準備 病院マネーマネー　薬の話 Evening Studies研修の準備 3．研修運営：9月15日外部講師研修「刑務所の現状から人権を考える」開催
10月	1．定例会議：19日 (1)　報告事項：外部講師研修　人権を考える　報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画確認 ケースレポートについて 研修参加率向上の取り組みの評価と今後について 2．活動事項：行動制限最小化Evening Studies研修開催準備 拡大ケース検討会開催準備 ＳＳＴリーダー育成研修〈初級〉準備 看護補助員の外部研修参加準備 3．研修運営：10月5日6日一時救命処置Evening Studies研修開催 10月13日新規採用者6ヶ月目研修「医療安全・行動制限身体拘束の理解と体験・救助袋の体験・6か月の振り返り・身だしなみ」開催 10月19日プリセプター研修開催 10月19日20日医事課・中材・薬剤科Evening Studies研修 「病院マネーマネー」開催

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	1．定例会議：16日 (1)　報告事項：一時救命処置研修報告 新規採用者６ヶ月目・プリセプター研修報告 病院マネーマネー研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画確認 研修DVDの購入と活用について検討 2．活動事項：医療安全　Evening Studies研修「CVPPP」開催準備 3．研修運営：11月１日拡大ケース検討会開催 11月８日９日ＳＳＴリーダー研修〈初級〉開催 11月16日17日行動制限「精神保健福祉法の理解を深める」 Evening Studies研修開催 11月17日18日新人向けエポックの手技研修開催 11月19日看護補助員の外部研修参加「自信を持って爪を切ろう」
12月	1．定例会議：14日 (1)　報告事項：拡大ケース検討会報告 ＳＳＴリーダー研修〈初級〉報告 行動制限Evening Studies研修報告 新人向けエポックの手技研修報告 看護補助員の研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画確認 院内研究の検討 次年度新規採用者・プリセプター研修内容、教育計画と内容検討 2．活動事項：感染・褥瘡Evening Studies研修開催準備 3．研修運営：12月７日８日医療安全Evening Studies研修「CVPPP」開催
平成29年 1月	1．定例会議：11日 (1)　報告事項：医療安全Evening Studies研修報告 (2)　協議事項：Evening Studies研修計画企画確認 次年度新規採用者研修の内容 2．活動事項：退院支援Evening Studies研修開催準備 院長新年講演の準備 3．研修運営：１月11日12日感染・褥瘡Evening Studies研修 「インフルエンザ予防対策」「褥瘡外部研修の伝達講習」開催
2月	1．定例会議：８日 (1)　報告事項：感染・褥瘡Evening Studies研修報告 (2)　協議事項：次年度の教育計画と内容の検討 次年度新規採用者研修の内容検討 次年度の教育計画について検討 2．活動事項：新規採用者１年目・プリセプター研修開催準備 新年度新規採用者研修開催準備 3．研修運営：２月13日14日院長新年講演「南浜病院の現状と課題」開催 ２月22日23日退院支援員会Evening Studies研修開催
3月	1．定例会議：８日 (1)　報告事項：院長新年講演報告 退院支援委員会Evening Studies研修報告 新規採用者１年目研修報告 プリセプター研修報告 (2)　協議事項：新年度新規採用者研修内容 新年度教育計画について 2．活動事項：Evening Studies研修開催準備 新規採用者看護技術研修、ケースレポート発表開催準備 3．研修運営：３月１日平成28年度新規採用者１年目研修 「発達課題・交流分析・心に残ったエピソード発表」開催 ３月１日プリセプター研修開催 ３月23日24日アクションプラン開催 ３月30日31日平成29年度新規採用者研修開催 ３月31日平成29年度プリセプター研修開催

※Evening Studies：院内研修の名称。業務終了後の17時15分より職員へ自主的な知識・技術獲得の機会を提供している。環境を整えることによって、個々の医療スタッフとしてスキルアップを図っている。

【評　価】

・新人・プリセプター研修の充実を図ると同時に年間 5 回の研修を実施。ケースレポート15題の発表につながった。
・Evening Studies（病院独自の集合教育）年間12題の研修プログラムを提供。全職員対象で平均参加人数100名/ 2 日間(職員全体の約4割が参加)
・ファシリテーションスキルアップとして拡大ケース検討会（ 2 回/年）実施。全職員対象で平均参加人数46名/日（全体の約 2 割参加）
・SSTリーダー育成研修　14名が受講し、職員の 8 割がSST普及協会規定による初級認定修了証の交付をうけている
・院内研究発表会 7 題

本年度の活動は、昨年度に引き続き人権や接遇に配慮した研修を行うとともに、当院の機能変化に伴って認知症患者への対応として専門的な研修を受けた職員による講義も行い好評を得た。また一時救命の資格を取得した職員を中心に技術講習を行い、看護技術の向上につながるよう企画した。

行動制限、医療安全、感染褥瘡の義務研修では、各委員会でプログラムの検討を行い、参加型の実践に役立つような内容であった。

拡大ケース、集合教育の参加人数が減少している。研修内容を全職員に伝えられる方法の検討が必要。

各委員会と連携したより良い研修内容の検討と、職員の能力に沿った研修内容の提供が課題である。

文 責　伊藤久美子

広 報 委 員 会

委員長：布川征一郎・事務局：川島正人

【構成員】

9名（看護師4名　精神保健福祉士1名　作業療法士1名　事務員3名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 記 録 内 容
毎　月	・定例会議　第1木曜日16：00 ・法人内外広報誌 すずらん・ふれあい（年間各3部）の発行 ・ホームページの管理・運営 ・Evening Studies、法人行事の撮影記録 ・Annual Report（年報）の作成
平成28年 4月	1．定例会議：7日 2．活動記録： ・新規採用者看護技術研修 ・防災研修 ・院長講演 ・院内研究発表会 ・ケースレポート発表
5月	1．定例会議：17日 ・広報誌発刊（すずらん19号・ふれあい60号） 2．活動記録： ・新規採用者1ヶ月目研修 ・Evening Studies医療安全
6月	1．定例会議：2日 2．活動記録： ・Evening Studies行動制限 ・アシスタント研修
7月	1．定例会議：7日 2．活動記録： ・Evening Studies拡大ケース検討会 ・Evening Studies褥瘡感染 ・海岸清掃 ・新規採用者3ヶ月目研修
8月	1．定例会議：4日 2．活動記録： ・Evening Studies副院長講演 ・Evening Studiesキネステティックス ・Evening Studiesユマニチュード ・プリセプター研修 ・新潟まつり大民謡流し ・病院対抗球技大会
9月	1．定例会議：1日 ・広報誌発刊（すずらん20号・ふれあい61号） 2．活動記録： ・葛塚まつり民謡流し ・Evening Studies退院支援委員会 ・Evening Studies人権擁護 ・2016南浜病院祭

委員会活動報告

月　日	議 事 及 び 活 動 記 録 内 容
10月	1．定例会議：6日 2．活動記録： ・Evening Studies一次救命　・Evening Studiesマネーマネー ・新規採用者6ヶ月目研修　・プリセプター研修
11月	1．定例会議：6日 2．活動記録： ・千秋島見精神科勉強会（田宮病院、南浜病院） ・拡大ケース検討会 ・SSTリーダー養成研修 ・Evening Studies行動制限
12月	1．定例会議：6日 2．活動記録： ・Evening Studies医療安全 ・親和会忘年会 ・クリスマスツリー点灯式 ・めぐみキッズハウスクリスマス会
平成29年 1月	1．定例会議：5日 広報誌発刊（すずらん21号・ふれあい62号） 2．活動記録： ・Evening Studies褥瘡感染ICT
2月	1．定例会議：2日 2．活動記録： ・Evening Studies病院長講話 ・Evening Studies退院支援委員会 ・新規採用者1年目研修・プリセプター研修
3月	1．定例会議：13日 2．活動記録：Evening Studiesアクションプラン ・H29年度新規採用者研修

【評　価】

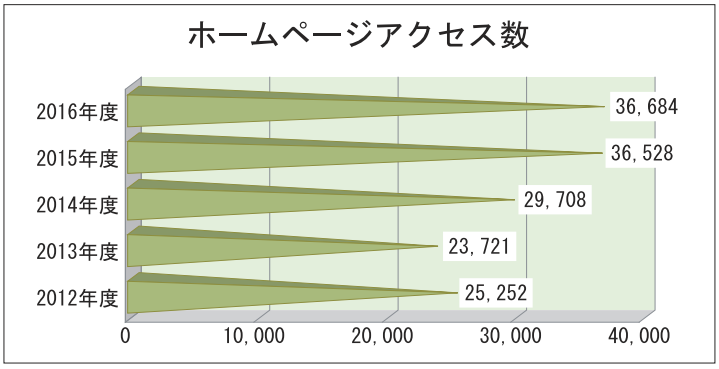
活動の中心となる広報誌は計画通り、内外誌共に3部の発行ができた。引き続き広報誌を通じて法人の取り組みを理解してもらえる内容を構成していく。

また、ホームページに関しては過去最高アクセス数を更新した。概要調査からモバイル及びタブレットのアクセスが家庭用デスクを上回った。今後はモバイルに適応特化したホームページへ方向転換する必要がある。

Annual Report（年報）の作成は発刊編集の効率に課題を残すが、広報委員会として活動は概ね達成できた。

これからも利用者に伝わりやすい広報活動を展開していく。

文 責　川島　正人



情 報 委 員 会

委員長：後藤孝英・事務局：相澤利彦

【構成員】

4名（看護師2名　事務員2名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第3月曜日15：30
平成28年 4月	定例会議　18日 今年度の検討事項について
5月	定例会議　16日 1．恵生会の情報セキュリティについて 2．パスワード付きのＵＳＢの配布
6月	定例会議　20日 1．恵生会の情報セキュリティについて 2．パスワード付きのＵＳＢの設置 3．Windows10　対応
7月	定例会議　15日 1．恵生会の情報セキュリティについて 2．パスワード付きのＵＳＢの設置
8月	定例会議　17日 病院内のパソコン状況調査
9月	定例会議　12日 病院立入検査資料について
10月	定例会議　17日 病院立入検査について
11月	定例会議　21日 「個人情報保護規程」「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の見直しについて
12月	定例会議　19日 「個人情報保護規程」「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の見直しについて
平成29年 1月	定例会議　26日 「個人情報保護規程」「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の見直しについて
2月	定例会議　20日 「個人情報保護規程」「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の見直しについて
3月	定例会議　13日 情報管理について

【評　価】

パスワード付きのＵＳＢの設置といったハード面での安全化や、ソフト面でも世界的なWindows10のアップデート騒動へも対応し、安全管理はうまく対応できた。来年度は個人情報保護法の改正も行われるため、それに伴い個人情報保護規程の改正が必要である。

文 責　相澤　利彦

医療観察法運営委員会

委員長：後藤雅博・事務局：大澤　孝

【構成員】

7名（医師1名　看護師2名　作業療法士1名　精神保健福祉士1名　臨床心理士1名　事務員1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第4木曜日 16：00 ・通院医療対象者の受け入れから処遇終了に至るまでの報告および検討 ・通院医療対象者の個別治療計画の検討と承認 ・個別多職種チームの編成と運営について ・通院医療に関する問題点の検討 ・その他
平成28年 4月	定例会議：28日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
5月	定例会議：26日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
6月	定例会議：23日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
7月	定例会議：28日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
8月	定例会議：25日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
9月	1．定例会議：29日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告、9月1日CPA会議出席 2．活動事項：指定通院医療機関アンケート協力
10月	1．定例会議：28日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：新規受け入れ依頼について 2．活動事項：10月23日　新潟県心神喪失者等医療観察制度運営協議会における意見・質問の提出
11月	定例会議：24日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
12月	定例会議：22日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：新規受け入れについて

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成29年 1月	1．定例会議：30日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 2．活動事項：1月30－31日　平成28年度司法精神医療等人材養成研修参加
2月	定例会議：22日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告
3月	1．定例会議：23日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 2．活動事項：3月21日　新規対象者1名通院処遇開始

【評　価】

平成28年度は新規対象者1名が処遇開始となった。この間、対象者についての情報共有を密に行ってきた。

次年度も引き続き、指定通院医療機関従事者研修等に職員を派遣し、知識や技術の向上を図りたい。また、チーム運営や各種評価に関するサポートを行える体制作りを目指したい。

次年度は対象者1名の処遇終了を控えている。処遇終了後のフォロー体制についても検討していく。

文責　大澤　　孝

医療安全対策委員会

委員長：川嶋義章・事務局：和気一弘

【構成員】

7名（医師1名　看護師2名　薬剤師1名　作業療法士1名　事務員2名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会会議　第3木曜日　16：00 インシデント・アクシデントレポートに関する報告・検証、システム改善・評価
平成28年 4月	定例会議：21日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：薬剤に関する事故防止小委員会からの報告 義務研修について、インシデント・アクシデント集計比較 接遇委員会の立ち上げ
5月	定例会議：19日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：薬剤に関する事故防止小委員会からの報告 義務研修参加促進、不参加者への対応 メーリングソフトを利用した連絡システムの運用
6月	定例会議：16日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフトを利用した連絡システムの運用 注射処方箋の書式の統一について 消防・防災計画書の変更について
7月	定例会議：22日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：内服薬・注射処方に関する課題 医療安全マニュアルの一部変更 メーリングソフトを利用した連絡システムの運用
8月	定例会議：18日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフトを利用した連絡システムの運用 内服薬・注射処方に関する課題
9月	定例会議：15日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフトを利用した連絡システムの運用 自殺企図・希死念慮の対応、マニュアル改訂 救助袋降下訓練について
10月	定例会議：20日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：停電・断水について対応検討 メーリングソフト活用緊急連絡訓練実施について 保健所立ち入り検査、指摘・指導事項 消防設備の説明、消火訓練、評価

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	定例会議：17日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフト活用緊急連絡訓練実施について 自殺企図・希死念慮のある患者対応マニュアル作成 義務研修について 救助袋降下訓練について悪天候が続き今年度中止
12月	定例会議：15日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 薬に対する意識向上、栄養科の箸とスプーン未返却または紛失について 2．検討事項：義務研修参加率改善について メーリングソフト緊急連絡登録状況について Ｊシグナルマニュアル導入、配布
平成29年 1月	定例会議：19日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフト緊急連絡登録状況について 平成29年度防災訓練計画について 薬剤に関する強化月間（2階病棟） OT時の隔離制限患者の付添いについて
2月	定例会議：16日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：平成29年度防災訓練計画の承認 メーリングソフト緊急連絡の試行 Ｊシグナル対応以外でのヒモ類持ち込みについて
3月	定例会議：16日 1．報告事項：リスクマネージャー委員会からの報告 2．検討事項：メーリングソフト緊急連絡訓練結果について Ｊシグナル対応時の物品管理テンプレート 平成29年度防災訓練計画 施錠確認の徹底について

【評　価】

医療安全義務研修

「CVPPPの講習と実技」「インシデント・アクシデント傾向分析と対策について」をEvening Studies形式で各2回実施した。

医療安全ラウンドの実施

週に1回のペースで事例発生該当部署を多職種でラウンド実施、インシデント・アクシデントレポートの振り返りや指導、実施検証を行った。現実可能な対策、再発防止に最善の対策を推進してきた。

薬剤に関するエラーが減少せず、薬剤に関する事故防止強化月間の取り組みを実施。

確認ミスによるヒューマンエラーの防止、複数確認や呼称確認の実施を推奨し、施錠確認の徹底を目的に強化月間を設けて取り組んできた。

メーリングソフトを活用した緊急連絡網を立ち上げたが、受信・既読に関する課題は残り今後の訓練で改善していく。

自殺事故防止対策として既存の対策を見直し、新たに「Jシグナル」と呼称を変更し運用を開始した。電子カルテ内にテンプレートを設けるなど、使いやすく対応内容が周知しやすくなった。

文 責　和気　一弘

リスクマネージャー委員会

委員長：川嶋　義章・事務局：有田　弘幸

【構成員】

21名（医師１名　看護師８名　薬剤師１名　診療放射線技師１名　臨床検査技師１名　作業療法士３名　臨床心理士１名　管理栄養士１名　事務員２名　施設管理員１名　看護補助員１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第３木曜日　15：00 前月分のインシデント・アクシデント報告及びラウンドの報告 システムの変更及び各部署からの検討事項等
平成28年 ４月	定例会議：21日 報告事項：３月分のレポートの報告(全体で47件)、ラウンドの報告 ・第２回誤配薬小委員会について ・Evening Studiesに関して ・地震・防災訓練報告書について ・接遇委員会設置について ・平成27年度のインシデント・アクシデント総評
５月	定例会議：19日 １．報告事項：４月分のレポートの報告（全体で40件)、ラウンドの報告 ・第３回誤配薬小委員会につて（今回で一旦終了） ・緊急連絡網について ２．検討事項：Evening Studiesの恒常的な不参加者に関して→医療安全対策委員会へ諮問
６月	定例会議：16日 報告事項：５月分のレポートの報告（全体で63件)、ラウンドの報告 ・医療安全Evening Studiesを６／18・６／19実施 ・注射処方箋の入力に関して
７月	定例会議：21日 １．報告事項：６月分のレポートの報告（全体で63件)、ラウンドの報告 ・マスターキーの管理について ２．そ の 他：処方ルールについて
８月	定例会議：18日 報告事項：７月分のレポートの報告（全体で49件)、ラウンドの報告 ・緊急連絡網について→全職員登録
９月	定例会議：15日 報告事項：８月分のレポートの報告（全体で60件)、ラウンドの報告 ・防災訓練に関して ・ブラックシグナルのマニュアルに関して ・禁食対応に関して ・各部署における医薬品マニュアルの改訂に関して
10月	定例会議：20日 報告事項：９月分のレポートの報告（全体で55件)、ラウンドの報告 ・停電・断水に関して ・緊急連絡網について ・禁食に関して ・保健所監査について

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	定例会議：17日 報告事項：10月分のレポートの報告（全体で52件）、ラウンドの報告 ・Evening Studiesに関して→12/ 7 ・12/ 8　CVPPP伝達講習 ・ブラックシグナルのマニュアルに関して→名称変更含め医療安全対策委員会へ
12月	定例会議：15日 報告事項：11月分のレポートの報告（全体で54件）、ラウンドの報告 ・ブラックシグナルの名称変更に関して →医療安全対策委員会でＪシグナルに決定し、全体会議で通達
平成29年 1月	定例会議：21日 報告事項：12月分のレポートの報告（全体で52件）、ラウンド報告 ・ブラックシグナルの名称変更について→Ｊシグナルに決定 ・緊急連絡網訓練に関して→未登録職員は部署ごとでメール以外の連絡網を作成し、連絡
2月	定例会議：16日 1．報告事項：1月分のレポートの報告（全体で50件）、ラウンド報告 2．検討事項：病室の延長コードの関して
3月	定例会議：16日 報告事項：2月分のレポートの報告（全体で48件）、ラウンド報告 ・ヘッドフォン取り扱いについて ・地震・火災避難訓練に関して

【評　価】

医療安全対策委員会のEvening Studies「レポート集計より当院の各部署における前年度との比較及び特性その評価について」「CVPPPの講習と実技」を実施した。

本年度も定例会議以外に1回／週の医療安全のラウンドを行い、その対策が適正であるのかを検討した。更に誤配薬小委員会を適宜開催し、対策・評価を行った。

確認ミスによるヒューマンエラーの防止、ダブルチェックの徹底や呼称確認の実施の推奨に取り組んだ。

文 責　有田　弘幸

行動制限最小化委員会

委員長：橋野健一・事務局：佐藤博幸

【構成員】

8名（医師1名　看護師6名　精神保健福祉士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第1木曜日　15：00～
平成28年 4月	定例会議：28日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①拘束用具の管理方法について ②Evening Studiesについて企画・検討
5月	定例会議：26日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①拘束用具の管理方法について ②行動制限に関する一覧性台帳の記載方法の確認と課題について ③行動制限に関わる電子カルテの書式について
6月	定例会議：28日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①行動制限状況報告用紙について ②医局連絡会議からの確認について
7月	定例会議：26日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：拘束用具不足分の購入検討について
8月	定例会議：23日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①新人研修および11月のEvening Studiesについて ②隔離身体拘束1週間評価について
9月	定例会議：27日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①行動制限に関わる書類の記載方法等について ②隔離身体拘束1週間評価について
10月	定例会議：25日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：①行動制限に関する一覧性台帳および電子カルテ記載について ②拘束指示に対する電子カルテ記載方法について
11月	定例会議：22日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：拘束帯破損事例について
12月	定例会議：27日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：拘束帯の破損状況について

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成29年 1月	定例会議：24日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：実施指導指摘事項に対する改善計画書について
2月	定例会議：28日 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：拘束帯の管理について
3月	定例会議： 1．報告事項：隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始及び早期解除評価運用報告状況 2．検討事項：平成29年度の Evening Studies・新人研修担当について

【評　価】

Evening Studiesを年度内2回開催（平成28年6月29・30日、11月16・17日）

平成28年度は拘束用具の管理・使用方法の見直しを行った。また、隔離・身体拘束に関わる書類や電子カルテの記載方法の確認と適正使用について再確認し、周知・徹底を図り不備の無い運用に努めた。

今後も患者の尊厳及び人権に配慮し、行動制限の適正化を図る。

文 責　**佐藤　博幸**

院内感染防止対策委員会

委員長：後藤雅博・事務局：神田由香里

【構成員】

8名（医師2名　薬剤師1名　看護師3名　臨床検査技師1名　事務員1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2木曜日 16:00～
平成28年 4月	1．定例会議：14日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：病棟日誌の感染カウント方法・感染症発生報告書
5月	1．定例会議：12日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：リンクナースの配置
6月	1．定例会議：9日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：イブニングスタディの検討・ダストカート
7月	1．定例会議：14日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：調理室定期細菌学的検査結果について
8月	1．定例会議：12日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：栄養科の感染対策
9月	1．定例会議：8日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：インフルエンザ予防接種の日程について 肺炎球菌ワクチンの当院の方針
10月	1．定例会議：12日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：麻しん対策
11月	1．定例会議：10日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：職員の麻しん検査について
12月	1．定例会議：7日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：フェーズ別感染対策・Evening Studiesの検討

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成29年 1月	1．定例会議：12日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：感染症発生時の連絡体制
2月	1．定例会議：9日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：ノロウイルス対策について
3月	1．定例会議：9日 院内感染報告・抗生剤適正使用報告・食中毒発生状況報告 院外感染症情報・ICT報告 2．協議事項：インフルエンザアウトブレイク対策

【評　価】

今年度は3月まで、感染症に罹患した時にはその都度速やかに対策を指示したことで、院内感染の拡大やアウトブレイクの発生はなかった。

しかし、3月2日に4階病棟で患者16名・職員5名のインフルエンザAのアウトブレイクの発生となった。その後、全職員で対策を徹底し、3月22日に終息、発生病棟だけでのアウトブレイクに止まった。

今後は速やかにコホート・ゾーニングが出来る様、各部署で検討し、職員の標準対策の徹底を強化してアウトブレイクの発生を起こさないよう再発防止に努めたい。

来年度も標準予防策の確立と院内での感染状況を把握し、迅速かつ適切な対策を行い、職員教育も充実させていきたい。

文 責　**神田由香里**

ＩＣＴ委員会

委員長：鈴木好文・事務局：佐野有華

【構成員】

10名（医師１名　看護師６名　薬剤師１名　臨床検査技師１名　事務員１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	第２金曜日に各部署ラウンド及び定例会議
平成28年 ４月	15日：各部署ラウンド・定例会議 ・感染報告書改正に向けて検討
５月	13日：各部署ラウンド・定例会議 ・病棟日誌カウント、感染症発生報告書マニュアルについて検討 ・ダストカート購入について検討 ・マスク専用ゴミ箱設置について検討
６月	10日：各部署ラウンド・定例会議 ・各部署でリンクナースの配置について（ICT委員会で人選） ・７月のEvening　Studiesの内容について検討 ・肺炎球菌ワクチンについての周知
７月	７日：連携施設間カンファレンス（場所　木戸病院） テーマ『各施設の「職業感染防止」についての現状と課題』 ・針刺し等の血液体液曝露後の対応とマニュアルについて ・Ｂ型肝炎ウィルスの対応・予防接種について 15日：各部署ラウンド・定例会議 26日：感染ナイトセミナー参加（場所　新潟ユニゾンプラザ） 『従業員保健＆環境サービスセミナー』 28.29日：　Evening　Studies　『新しい感染報告書について』
８月	19日：各部署ラウンド・定例会議 ・感染対策マニュアル見直し開始 ・手指消毒使用料アップについて検討
９月	9日：各部署ラウンド・定例会議 ・インフルエンザ予防接種に関する流れを確認
10月	12日：保健所立ち入り検査 14日：各部署ラウンド・定例会議 ・保健所立ち入り　監査報告 ・インフルエンザ予防接種に関して 25日：連携施設間カンファレンス（場所　木戸病院） テーマ『感染管理ベストプラクティス実践報告』 29日：第２回新潟感染対策講演会（場所　新潟ユニゾンプラザ） ・教育講演『感染対策「あるべき姿」と「実際の姿」～ギャップへの介入～』 『病院環境改善に必要な委託業者へのかかわり方』 ・特別講演『院内感染対策のための消毒薬及び環境整備』
11月	11日：各部署ラウンド・定例会議 ・流行性結膜炎について対応を確認 ・感染報告書活用に関して検討

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
12月	9日：各部署ラウンド・定例会議 ・インフルエンザ　フェーズ別感染対策について検討 ・トリゾンラブ代用品に関して検討 16日：連携施設間カンファレンス（場所　木戸病院） テーマ：『インフルエンザ対策』 ・『流行期間中のアウトブレイクを防ぐための取り組み』 ・『各施設のインフルエンザ　フェーズの運用についての意見交換』 17日：医療安全対策/感染管理懇話会学術集会 テーマ：『ICTラウンドのあり方を考える』 19日：感染報告書運用開始
平成29年 1月	12.13日：Evening　Studies「インフルエンザ感染拡大防止について」 13日：各部署ラウンド・定例会議 ・感染報告書の評価、修正 ・インフルエンザ　フェーズ別感染対策について検討 ・トリゾンラブ代用品に関して検討
2月	10日：各部署ラウンド・定例会議 ・袖付きエプロンについて導入検討
3月	9日：連携施設間カンファレンス テーマ：『厨房におけるノロウイルス感染対策』 10日：各部署ラウンド・定例会議 ・4階病棟　インフルエンザアウトブレイクについて検証

【評　価】

平成28年度は積極的に連携施設カンファレンスや研修に参加した。また、感染報告書の改訂やリンクナースの設置など多くの事案を決定し運用することができた。

次年度は院内感染の未然防止を強化し、インフルエンザフェーズ別感染対策の運用にも取り組む。

文 責　**佐野　有華**

褥瘡対策委員会

委員長：鈴木好文・事務局：佐藤敦子

【構成員】

10名（医師１名　看護師５名　薬剤師１名　管理栄養士１名　精神保健福祉士１名　作業療法士１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例回診　第２火曜日　14：00 定例会議　第２木曜日　15：00
平成28年 ４月	１．定例回診：12日　対象者３名 ２．定例会議：14日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者１名、転帰者４名 (2)　症例検討：２名
5月	１．定例回診：10日　対象者３名 ２．定例会議：12日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者２名、転帰者０名 (2)　症例検討：３名
6月	１．定例回診：７日　対象者６名 ２．定例会議：９日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者４名、転帰者１名 (2)　症例検討：５名
7月	１．定例回診：12日　対象者３名 ２．定例会議：14日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者３名、転帰者０名 (2)　症例検討：３名
8月	１．定例回診：10日　対象者６名 ２．定例会議：12日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者５名、転帰者３名 (2)　症例検討：５名
9月	１．定例回診：６日　対象者７名 ２．定例会議：８日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者４名、転帰者３名 (2)　症例検討：７名
10月	１．定例回診：11日　対象者４名 ２．定例会議：13日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者１名、転帰者４名 (2)　症例検討：３名
11月	１．定例回診：８日　対象者８名 ２．定例会議：10日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者５名、転帰者１名 (2)　症例検討：７名
12月	１．定例回診：６日　対象者８名 ２．定例会議：７日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者１名、転帰者０名 (2)　症例検討：８名 (3)　連絡事項：22・23日第13回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会に医師１名、看護師２名参加

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成29年 1月	1．定例回診：10日　対象者 6 名 2．定例会議：12日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者 2 名、転帰者 7 名 (2)　症例検討： 3 名 (3)　連絡事項：11・12日にEvening Studies（医療関連機器圧迫創傷について）の実施
2 月	1．定例回診： 7 日　対象者 4 名 2．定例会議： 9 日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者 1 名、転帰者 0 名 (2)　症例検討： 4 名
3 月	1．定例回診： 7 日　対象者名 3 名 2．定例会議： 9 日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者 1 名、転帰者 2 名 (2)　症例検討： 3 名

【評　価】

褥瘡統計：月内発生者平均　2.6名
褥瘡患者平均（発生者含む）　3.9名
治癒者平均　2.9名

Evening Studies： 1 回実施

文 責　佐藤　敦子

ＮＳＴ委員会

委員長：鈴木好文・事務局：吉川萌

【構成員】

5名（医師1名　看護師1名　薬剤師1名　作業療法士1名　管理栄養士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2木曜日褥瘡対策委員会終了後 ＮＳＴ対象患者のケア計画の立案・実施・評価
平成28年 4月	1．定例会議：14日 (1)　報告事項：3月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（9月から3月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告、平成27年度集計報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
5月	1．定例会議：12日 (1)　報告事項：4月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（10月から4月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名
6月	1．定例会議：9日 (1)　報告事項：5月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（11月から5月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
7月	1．定例会議：14日 (1)　報告事項：6月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（12月から6月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
8月	1．定例会議：12日 (1)　報告事項：7月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（1月から7月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
9月	1．定例会議：8日 (1)　報告事項：8月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（2月から8月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
10月	1．定例会議：13日 (1)　報告事項：9月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（3月から9月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	1．定例会議：10日 (1)　報告事項：10月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（4月から10月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告、平成27年度新規低体重・肥満患者集計報告、平成28年度（10月まで）新規低体重・肥満患者集計報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名
12月	1．定例会議：7日 (1)　報告事項：11月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（5月から11月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
平成29年 1月	1．定例会議：12日 (1)　報告事項：12月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（6月から12月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名
2月	1．定例会議：9日 (1)　報告事項：1月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（7月から1月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名
3月	1．定例会議：9日 (1)　報告事項：2月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（8月から2月期）5kg以上減少者報告、体重減少者フォロー状況報告 (2)　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討0名

【評　価】

・低体重者　　平均47.5名
・低Alb値者　平均 9.0名
・肥満者　　平均38.3名
・半年で5kg以上体重減少者　平均25.7名

低体重者の平均値は前年度より7.8名減少できたが低Alb値者の平均値は2.1名増加した。半年で5kg以上体重減少者の平均値も2.4名増加し、低栄養患者の早期発見・早期介入が求められる。月間集計では冬季にむけて低体重者のBMI減少が増加していることがわかった。冬季は栄養管理の強化月間にしたい。

文責　吉川　　萌

薬 事 委 員 会

委員長：鈴木好文・事務局：川島伴子

【構成員】

13名（医師10名　看護師１名　薬剤師１名　事務員１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
隔　月	定例会議　奇数月第１月曜日 16：30 薬物治療・薬剤業務の適正化、医薬品の無秩序な購入の防止
平成28年 ５月	定例会議：９日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、救急病棟の向精神薬の定数配置について ２．報告事項：１薬剤（抗うつ薬）の後発薬への変更報告
７月	定例会議：４日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、救急病棟配置薬について ２．報告事項：２薬剤（抗うつ薬、乳がん治療薬）の後発薬への変更報告
９月	定例会議：５日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討 ２．報告事項：１薬剤（抗精神薬）の新規採用報告 院外処方の用法記載について（統一記載依頼）
11月	定例会議：７日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、薬剤師が不在時の調剤について ２．報告事項：抗精神薬（１剤）の後発薬の変更について
平成29年 １月	定例会議：30日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、他科受診時で処方された内容が今後の参考にできるよう疾患別処方集の作成について ２．報告事項：院外・院内採用薬で今後製造中止予定薬剤を情報提供医師が夜間・休日時に適正な調剤方法について
３月	定例会議：27日 １．協議事項：削除薬・新規採用薬の検討 ２．報告事項：製造中止薬の経過措置期間について情報提供他科受診時の疾患別処方収集の方法と導入について

【評　価】

平成28年度は精神科救急病棟の導入に伴い持参薬、他科受診薬、市販薬などの管理や医師への情報提供の頻度も増すなど薬剤の適正使用に関する業務が多かった。採用薬以外の購入も多くなりそれによって不動在庫が増え院内採用薬数も上がってしまった。

後発薬の採用には積極的に情報提供できていた。その他院外処方の適正化や医局からの課題等については委員会で検討し、適切に対応した。

文 責　川島　伴子

病院食検討委員会

委員長：後藤雅博・事務局：山岸桃子

【構成員】

9名（医師2名　看護師2名　作業療法士1名　管理栄養士2名　委託会社職員2名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
偶数月	定例会議　偶数月　第2水曜日 16：00 ・イベント・行事食の実施・評価 ・検食簿集計報告 ・病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
平成28年 4月	定例会議：13日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告、平成27年度栄養充足率報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 平成28年度イベントスケジュールについて
6月	定例会議：8日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 冷たいお茶の提供について
8月	定例会議：10日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 入院時の食形態評価について 果物のミキサー調理について 食塩量の見直しについて
10月	定例会議：19日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 入院診療計画書について 禁止食について 給食委員について
12月	定例会議：14日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 平成28年度嗜好調査について
平成29年 2月	定例会議：8日 1．報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告、平成28年度嗜好調査結果報告 2．協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 平成29年度イベント・行事食について

【評　価】

・イベント・行事食：月2回以上実施

・ビュッフェ・選択メニュー：各病棟、デイケアにて年間12回実施

・地産地消メニュー：年間 4 回実施
・入院患者、デイケア利用者を対象に嗜好調査アンケート実施　回収率49%

長期入院者の高齢化にともない嚥下状態の悪化や窒息リスクが高まっている。そのため各部署から給食委員を 1 名以上設置し、イベント・行事食のリスク把握を栄養科と協働におこなっている。今後も他部署と協力し、安全な食事提供に努めたい。

文 責　吉川　　萌

衛 生 委 員 会

委員長：後藤雅博・事務局：村木憲一

【構成員】

6名（医師2名　看護師1名　薬剤師1名　臨床検査技師1名　臨床心理士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2木曜日 16：00 職員の労働安全衛生に関する活動について立案及び調査審議を行う
平成28年 4月	定例会議：14日 報告事項：平成28年度春季健康診断について メンタルヘルスについて
5月	定例会議：12日 報告事項：平成28年度春季健康診断について
6月	定例会議：9日 報告事項：平成28年度春季健康診断について メンタルヘルスについて
7月	定例会議：14日 報告事項：健康診断保健指導について メンタルヘルスについて
8月	定例会議：12日 報告事項：健康診断保健指導について メンタルヘルスについて
9月	定例会議：8日 報告事項：メンタルヘルスについて
10月	定例会議：13日 1．報告事項：秋季健康診断について 麻疹抗体価測定について 2．報告事項：メンタルヘルスチェックについて
11月	定例会議：10日 報告事項：秋季健康診断について メンタルヘルスチェックについて
12月	定例会議：8日 報告事項：秋季健康診断について
平成29年 1月	定例会議：12日 報告事項：健康診断保健指導について
2月	定例会議：9日 協議事項：平成29年度春季健康診断について
3月	定例会議：9日 報告事項：平成29年春季健康診断について 職員の胸部X線撮影について

【評　価】

- 春・秋年 2 回の職員健康診断を実施
- メンタルヘルスチェック導入に向けての勉強会を開催
- 労働安全衛生に関する活動について立案及び各項目の行動順守を推進
- 労働災害の把握並びに予防策の検討を実施

今年度よりメンタルヘルスチェックの導入を行った。次年度に向けて振り返りを行い、よりスムーズな運用が実施できるよう各部署との調整を行っていく。今後とも職員の心身の健康維持増進を行えるよう健診の実施及び啓蒙・教育を実践していく。

文 責　**村木　憲一**

退院支援委員会

委員長：後藤雅博・事務局：布川征一郎

【構成員】

10名（医師１名　看護師４名　作業療法士２名　精神保健福祉士２名　臨床心理士１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第４水曜日 15：00 ・各部門における受け入れ状況の報告 （デイケア・福祉事業所・地域課・作業療法科） ・各病棟における退院支援進捗状況の報告 （３階病棟・４階病棟・５階病棟） ・長期入院者への退院支援に関する協議および検討 ・各種評価および研修参加等の取りまとめ ・地域機関との連絡会（新潟地域振興局圏域）開催にあたる各種業
平成28年 ４月	定例会議：27日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者のメンバー選定
５月	定例会議：25日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
６月	定例会議：22日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
７月	定例会議：24日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
８月	１．定例会議：24日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．リカバリー全国フォーラム2016（委員３名参加）：26、27日
９月	１．定例会議：21日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．二市一町連絡会議（当院）：８日
10月	定例会議：21日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
11月	定例会議：16日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
12月	定例会議：28日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
平成29年 １月	定例会議：25日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
２月	１．定例会議：22日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．Evening Studies（院内研修）開催：22、23日

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
3月	1．定例会議：25日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 2．今年度各種評価とりまとめ

【評　価】

各病棟におけるプログラムの充実や退院支援グループの均一化の難しさがあり、公開講座やクローズドグループの開催は見合わせ、今年度は5年以上の長期入院患者105名の中から退院可能と思われる患者6名を選定し、各病棟での取り組みを中心として行った。

昨年に引き続き6名が退院でき、5年以上の長期入院患者の5％退院をクリアできた。精神科地域移行実施加算の算定も2年連続クリアした。これは病院全体が長期入院患者の退院への意識、取り組みができてきたものと考える。

次年度は退院支援準備プログラムを見直し、5階病棟と共同で実施を進める。

地域との連携について今年度は院内でインフルエンザが発生したため、予定されていた2月の二市一町連絡会議の開催が中止となり、地域機関との連絡会は1回のみの開催となってしまった。連絡会では新たな取り組みとして当事者からの視点で情報提供や情報共有ができた。今後も継続して年2回の開催を行っていきたい。

文 責　布川征一郎

業務改善委員会

委員長：柴田実子・事務局：村山礼子

【構成員】

9名（医師1名　看護師4名　薬剤師1名　精神保健福祉士1名　事務員1名　看護補助員1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第1木曜日　15：30～
平成28年 4月	定例会議　7日 1．報告事項：①注射処方箋の運用について ②電子カルテについて（病棟マップ、プリンター） ③歯科依頼書に添付する薬シールについて 2．協議事項：①病棟移動サマリーについて ②患者リスクの表示について
5月	定例会議　2日 協議事項：①病棟移動看護サマリーについて ②患者リスクについて ③NANDAデーターベースについて ④電子カルテについて
6月	定例会議　2日 1．報告事項：病棟移動看護サマリーについて 2．協議事項：NANDAデーターベースについて
7月	定例会議　7日 1．報告事項：①アセスメントプラン使用方法について ②身体合併症管理加算の対象疾患拡大について ③持参薬の取り扱いについて 2．協議事項：院内医療事故再発防止対策・医療事故が予測された場合の管理体制について
8月	定例会議　4日 1．報告事項：①院内医療事故再発防止対策•医療事故が予測された場合の管理体制について ②身体合併症管理加算について 2．協議事項：①退院後の臨時薬の中止処理について ②入院・外来患者の入退院の経過把握について ③アセスメントプランについて
9月	定例会議　1日 1．報告事項：①相談記録について ②お薬手帳の保管について 2．協議事項：①退院後の臨時薬中止処理について ②院内医療事故調査制度に関する入院時のリスク確認について ③院内医療事故調査制度の医師が使用するテンプレートについて ④アセスメントプランのテンプレートについて
10月	定例会議　6日 1．報告事項：院内医療事故調査制度の入院時リスク確認について 2．協議事項：①退院後の臨時薬中止処理について ②入院・外来患者の過去の入退院経過について ③テンプレートの整理について ④ブラック対応者の1号画面サイドバーの表示について ⑤特記連絡の周知について

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	定例会議　2 日 1．報告事項：①生物由来製剤のLotNo.のカルテ入力について 2．協議事項：①過去カルテの取り込みについて ②特記連絡の周知について ③指示薬制限超えの処方について
12月	定例会議　1 日 1．報告事項：①特記連絡の周知について ②電子カルテサイドバーのリスク表示について 2．協議事項：過去カルテの取り込みについて
平成29年 1 月	定例会議　5 日 協議事項：①過去カルテの取り込みについて ②地域連携時情報共有シートについて ③病棟における器物破損について ④介護保険の認定区分について ⑤認知症の入院時スクリーニングについて
2 月	定例会議　2 日 1．報告事項：介護保険の認定区分について 2．協議事項：①地域連携情報共有シートについて ②点滴の払い出しについて ③現病歴について
3 月	定例会議　12日 1．報告事項：①入院診療計画書について ②金銭・個室・病衣・クリーニング契約について 2．協議事項：①点滴の払い出しについて ②現病歴について ③地域連携情報共有シートについて

【評　価】

精神科救急病棟稼働により病棟移動が増加した為、スムーズに情報共有ができるよう改善を行った。また大きな取り組みとして、医療事故が予測された場合の管理体制について、リスクが予測でき、周知できるよう改善を行った。今年度は病棟中心の議題が多かったが、地域との連携も増加している。多様な情報収集と情報提供が必要である。

文 責　村山　礼子

未収金対策委員会

委員長：鈴木好文・事務局：川島博幸

【構成員】

6名（医師2名　看護師1名　精神保健福祉士1名　事務員2名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2月曜日　16：00 未収金の状況把握及び対応・対策の検討
平成28年度 4月	定例会議　11日　議題 1．1月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．支払実績の乏しい方を対象に弁護士へ回収委託を検討
5月	定例会議　9日　議題 1．2月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．弁護士事務所による債権回収業務について　5名依頼
6月	未開催
7月	定例会議　11日　議題 1．4月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．債権回収依頼金額設定（200,000円）
8月	定例会議　8日　議題 1．5月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．その他・入院契約時の身元保証人について
9月	定例会議　12日　議題 1．6月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．その他・債権回収状況
10月	未開催
11月	定例会議　14日　議題 1．8月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．その他・完済予定者
12月	定例会議　12日　議題 1．9月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告
平成29年 1月	定例会議　16日　議題 1．10月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．その他・債権回収を引き続き依頼

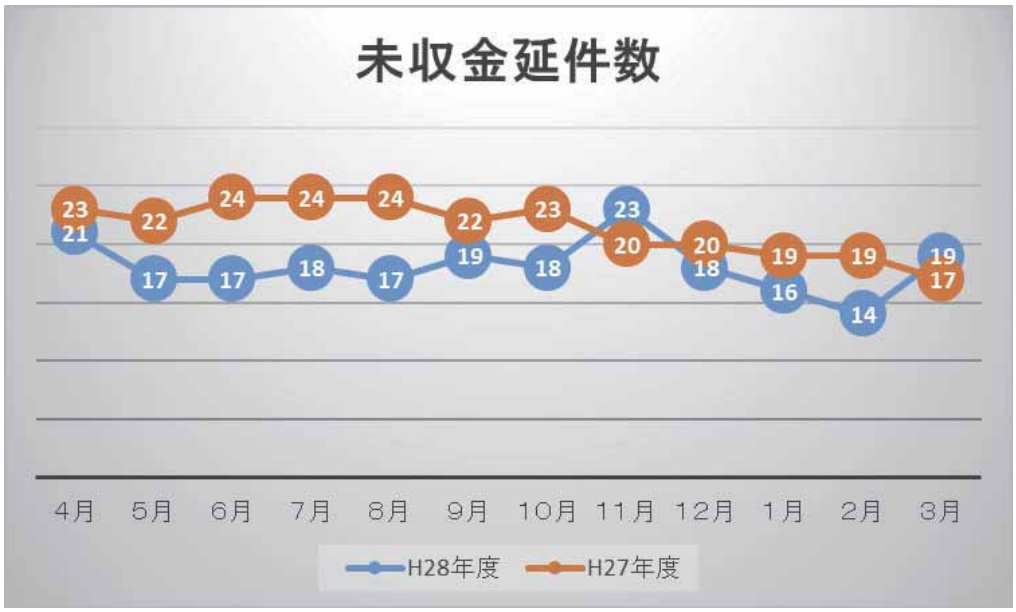
月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
2月	定例会議　13日　議題 1．11月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告 3．その他・こまめに連絡、督促が効果的
3月	定例会議　13日　議題 1．12月時点の未収金報告 2．滞納者へのアプローチ状況報告

【評　価】

平成28年度は、現状の未収金対策で成果に繋がらない困難ケースに対し、弁護士法律事務所と債権回収委託契約を締結した。計8件依頼、全額回収3件、継続5件であった。

また、入院診療費未収金対象者延べ人数217人、平均18.0人、実人数37人、内12ヶ月継続未収残高者9人（19.5%）、年度内で約117万円の未収金回収をした。

文責　川島　博幸



心理社会療法委員会

委員長・事務局：中川甚一郎

【構成員】

8名（看護師5名　精神保健福祉士2名　臨床心理士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議事及び活動内容
毎　月	院内における心理社会療法プログラムの立案、企画、実施、マネージメント
平成28年 4月	活動事項南 南SSTグループ（延べ9名参加）・南回想法グループ（延べ10名参加）・5階心理教育グループ（延べ5名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ4名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ4名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（5名参加）
5月	活動事項 南心理教育グループ（延べ29名参加）・南SSTグループ（延べ14名参加）・南回想法グループ（延べ11名参加）・5階心理教育（延べ1名参加）・5階SSTグループ（延べ16名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ2名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（7名参加）
6月	活動事項 南心理教育グループ（延べ37名参加）・南SSTグループ（延べ13名参加）・南回想法グループ（延べ13名参加）・2階回想法グループ（延べ12名参加）・4階回想法グループ（延べ14名参加）・5階心理教育グループ（延べ7名参加）・5階SSTグループ（延べ19名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ14名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ3名参加）・家族相談会第1クール第1回（6名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（6名参加）
7月	活動事項 南心理教育グループ（延べ30名参加）・南SSTグループ（延べ12名参加）・南回想法グループ（延べ7名参加）・2階回想法グループ（延べ12名参加）・4階回想法グループ（延べ15名参加）・5階心理教育グループ（延べ28名参加）・5階SSTグループ（延べ14名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ10名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ6名参加）・家族相談会第1クール第2回（5名参加）・17日：はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（6名参加）
8月	活動事項 南心理教育グループ（延べ16名参加）・南SSTグループ（延べ11名参加）南回想法グループ（延べ13名参加）・2階回想法グループ（延べ17名参加）・4階回想法グループ（延べ16名参加）・5階心理教育グループ（延べ12名参加）・5階SSTグループ（延べ9名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ2名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ8名参加）・家族相談会第1クール第3回（5名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（3名参加）
9月	活動事項 南心理教育グループ（延べ30名参加）・南SSTグループ（延べ11名参加）・南回想法グループ（延べ13名参加）・2階回想法グループ（延べ17名参加）・4階回想法グループ（延べ19名参加）・5階心理教育グループ（延べ9名参加）・5階SSTグループ（延べ14名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ4名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ1名参加）・家族相談会第1クール第4回（6名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（5名参加）

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
10月	活動事項 南心理教育グループ（延べ23名参加）・南SSTグループ（延べ19名参加）・南回想法グループ（延べ11名参加）・2階回想法グループ（延べ9名参加）・4階回想法グループ（延べ4名参加）・5階心理教育グループ（延べ8名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ10名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ6名参加）・家族相談会第1クール第5回（5名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（5名参加）
11月	活動事項 南心理教育グループ（延べ26名参加）・南SSTグループ（延べ11名参加）・南回想法グループ（延べ11名参加）・2階回想法グループ（延べ20名参加）・4階回想法グループ（延べ8名参加）・5階SSTグループ（延べ12名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ11名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ9名参加）・家族相談会第1クール第6回（3名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（4名参加）
12月	活動事項 南心理教育グループ（延べ40名参加）・南SSTグループ（延べ16名参加）・南回想法グループ（延べ7名参加）・2階回想法グループ（延べ13名参加）・4階回想法グループ（延べ6名参加）・5階SSTグループ（12名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ6名参加）・家族相談会第1クール第7回（4名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（6名参加）
平成29年 1月	活動事項 南心理教育グループ（延べ15名参加）・南SSTグループ（延べ12名参加）・南回想法グループ（延べ6名参加）・2階回想法グループ（延べ3名参加）・4階回想法グループ（延べ3名参加）・5階心理教育グループ（延べ11名参加）・5階SSTグループ（延べ11名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ8名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ6名参加）・家族相談会第1クール第8回（6名参加）・家族相談会第2クール第1回（4名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（8名参加）
2月	活動事項 南心理教育グループ（延べ26名参加）・南SSTグループ（延べ12名参加）・南回想法グループ（延べ8名参加）・2階回想法グループ（延べ13名参加）・4階回想法グループ（延べ12名参加）・5階心理教育グループ（延べ18名参加）・5階SSTグループ（延べ10名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ5名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ2名参加）・家族相談会第2クール第2回（5名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（7名参加）
3月	活動事項 南心理教育グループ（延べ23名参加）・南SSTグループ（延べ21名参加）・南回想法グループ（延べ8名参加）・2階回想法グループ（延べ17名参加）・5階SSTグループ（延べ3名参加）・5階認知行動療法グループ（延べ6名参加）・5階マインドフルネス認知療法グループ（延べ2名参加）・家族相談会第2クール第3回（6名参加）・はまかぜ会（家族相談会OBグループ）（5名参加）

＊各月において、未実施の活動については記載を省略

【評　価】

精神科救急病棟である南病棟が始まり、これまでにない疾患を持つ患者も多く入院した。南病棟を機能的に回転させていく事を中心に運営を行い、他の病棟も協力していく体制の中、各病棟患者層が変化してきた年度であった。また、今年度はプログラム全体の見直しが出来なかった。職員全体が心理社会療法を重要で必要な治療プログラムと認識しているので来年度は定期的にプログラムの運営の把握を行い、心理社会療法が病院全体の文化となるよう心理社会療法プログラムの職員研修に力を入れたい。

文 責　**中川甚一郎**

デイケア科運営委員会

委員長：後藤雅博・事務局：布施江利子

【構成員】

14名（医師１名　看護師４名　臨床心理士１名　精神保健福祉士６名　作業療法士２名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	毎月第３水曜日 16:15～ デイケア実績報告、通所・試み・見学予定者報告
平成28年 ４月	定例会議：20日 報告事項：平成28年３月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録102名、延べ利用数821名、１日平均37.3名 平成28年４月からのデイケア診療報酬改定等の報告・検討
５月	定例会議：18日 報告事項：平成28年４月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録93名、延べ利用数732名、１日平均36.6名 ピアサポーターの取材が新聞に掲載されたこと等の報告
６月	定例会議：15日 報告事項：平成28年５月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録93名、延べ利用数762名、１日平均40.1名 ハローワークとの連携事業が本格的に開始
７月	定例会議：20日 報告事項：平成28年６月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録95名、延べ利用数906名、１日平均41.2名 デイケアネットワークを新潟県内に拡大、WRAP２クール目開始
８月	定例会議：17日 報告事項：平成28年7月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録98名、延べ利用数849名、１日平均42.5名 デイケア通所中の家族相談会開催に向けてアンケートを実施
９月	定例会議：21日 報告事項：平成28年８月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録99名、延べ利用数908名、１日平均41.3名 障害者芸術文化祭で作品出展、ハンドベルステージ発表予定
10月	定例会議：19日 報告事項：平成28年９月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録101名、延べ利用数843名、１日平均42.1名 メンバー３名がリカバリーとピアサポートに関する研修・交流会に参加
11月	定例会議：16日 報告事項：平成28年10月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録100名、延べ利用数886名、１日平均44.3名 障害者芸術文化祭にハンドベルグループ11名が参加
12月	定例会議：21日 報告事項：平成28年11月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録102名、延べ利用数888名、１日平均44.4名 ハローワーク連携事業で１名障害者雇用の採用が決定

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成29年 1月	定例会議：20日 報告事項：平成28年12月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録101名、延べ利用数838名、1日平均41.9名 日本心理教育・家族教室ネットワーク新潟大会で座長1名、当事者発表3名、案内アルバイト4名のメンバーが参加予定 歯科と連携し、月1回の歯磨きチェックや歯科検診を実施
2月	定例会議：17日 報告事項：平成29年1月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録101名、延べ利用数770名、1日平均40.5名 デイケアおよび訪問支援統合化プログラムに研究協力開始家族相談会を開催し、6家族9名が参加
3月	定例会議：16日 報告事項：平成29年2月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録101名、延べ利用数804名、1日平均40.2名 家族参加型の18周年記念イベントを開催

【評　価】

本年度はピアサポーターが全国規模の学会において当事者発表やアルバイトなど幅広く活躍できた。ハンドベルグループは院内だけでなく、障害者芸術文化祭で演奏し、南浜病院のデイケア暁をアピールすることができた。また、デイケアおよび訪問支援統合化プログラムの研究協力を開始したことでデイケアと訪問看護スタッフの定期的なミーティングを開催し、双方から同じ目標に向かっての支援がしやすくなった。

就労支援やピアサポーター、SSTなどのプログラムを強化し、目的別の参加を宣伝してきたことで参加者の平均年齢も下がり、本来のリハビリテーションの場としての通過型デイケアに近付いてきた。

今後は家族相談会にも力を入れ、メンバーと家族双方への支援を行う。

文 責　布施江利子

接遇向上委員会

委員長：後藤雅博・事務局：村山礼子

【構成員】

13名（医師１名　看護師５名　精神保健福祉士１名　作業療法士２名　管理栄養士１名　事務員１名　看護補助員２名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第３木曜日　リスクマネージャー委員会終了後
平成28年 ５月	定例会議：19日 協議事項：⑴接遇向上委員会メンバーについて ⑵現場での接遇の問題点
６月	定例会議：16日 協議事項：⑴各部署での接遇について ⑵接遇を向上させる方法
７月	定例会議：21日 協議事項：接遇アンケートについて（全スタッフ対象で検討）
８月	定例会議：18日 協議事項：⑴接遇アンケートについて（アンケート作成） ⑵研修について
９月	定例会議：15日 協議事項：接遇アンケートについて（アンケート作成）
10月	定例会議：20日 １．決定事項：身だしなみについての指導 ２．協議事項：接遇アンケートについて（アンケート修正）
11月	定例会議：17日 決定事項：接遇アンケートを各部署へ配布
12月	定例会議：15日 協議事項：接遇アンケート結果について考察
平成29年 １月	定例会議：19日 協議事項：接遇アンケート考察、部署でのカンファレンス方法を検討
２月	定例会議：16日 協議事項：接遇アンケート結果を配布し各部署でカンファレンスを実施、スローガンを決める
３月	定例会議：16日 決定事項：⑴各部署で決定したスローガンを唱和 ⑵カンファレンスの結果を集約し配布

【評　価】

５月より、良いところを踏まえたうえでさらに接遇を向上させるため、接遇向上委員会を発足した。全スタッフを対象としたアンケート調査を行い、結果について各部署でカンファレンスを実施、スローガンを作成し部署ごとに毎朝の唱和を行っている。職員が接遇の意識を高められるような取り組みを行っていく。

文 責　村山　礼子

事後審査委員会

委員長：川嶋義章・事務局：大澤　孝

【構成員】

4名（医師1名　看護師2名　精神保健福祉士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議事及び活動内容
毎　月	定例会議　第4木曜日　9：15 ・緊急時における入院等（特定医師による任意入院患者の退院制限、医療保護入院、応急入院）に係る診察の特例措置の判断の妥当性について検証
平成28年 4月	定例会議：28日 ・審議対象者なし
5月	定例会議：26日 ・審議対象者なし
6月	定例会議：23日 ・審議対象者なし
7月	定例会議：28日 ・審議対象者なし
8月	定例会議：25日 ・審議対象者なし
9月	定例会議：29日 ・審議対象者なし
10月	定例会議：27日 ・入院者1名について特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証
11月	定例会議：24日 ・入院者1名について特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証
12月	定例会議：22日 ・審議対象者なし
平成29年 1月	定例会議：26日 ・審議対象者なし
2月	定例会議：23日 ・審議対象者なし
3月	定例会議：23日 ・審議対象者なし

【評　価】

平成28年度は計2件の入院について、特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証した。審査の結果、いずれも処遇は妥当であることが認められた。

次年度も引き続き、法令を順守した委員会運営を心掛けていきたい。

文責　大澤　　孝